



発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀 俊 紀
編集責任者：ほかにわ広報部



令格ラインは何パーセント

デイ雲村の本 所長 原口由紀子

先日、田んぼの準備が始まった水路に利用者がごみを投げ込んだとお叱りを受けました。農家にとっては大切な水路ですから、職員が謝罪し、その場をおさめて頂きました。ご本人には繰り返し言い聞かせ、職員が手をつなぎ移動していましたが少しの隙を見逃さず、走ります。勢いよく流れる水路に葉っぱを投げて流れを楽しむ障碍特性を住

平成二十七年四月発行の法人誌の表紙面に、「障碍者が地域で暮らす」が、グランドデザインとなった障害福祉事業を半世紀取り組んだ加津佐地区から、有家庭地区に進出し、事業所が地域で果たす役割を『ほかにわ』の「向こう三軒両隣」のタイトルで、書いています。そして、施設の役割として、住民と利用者との交流を相互に補完する場や機会を持つことに期待しているとしています。

真面目に考えています。住民が参加可能な様々な行事の実施はよくある方法です。受け身ではなく、施設が能動的に発信すること、理解をしていただきたいと思います。しかし、人口減少、少子化、そして高齢化で地方が喘ぎ、国が迷走し、世界各地で争いが起きています。閉塞感と民衆の不寛容さの只中で、施設は、能動性が発揮できるのかと考えます。

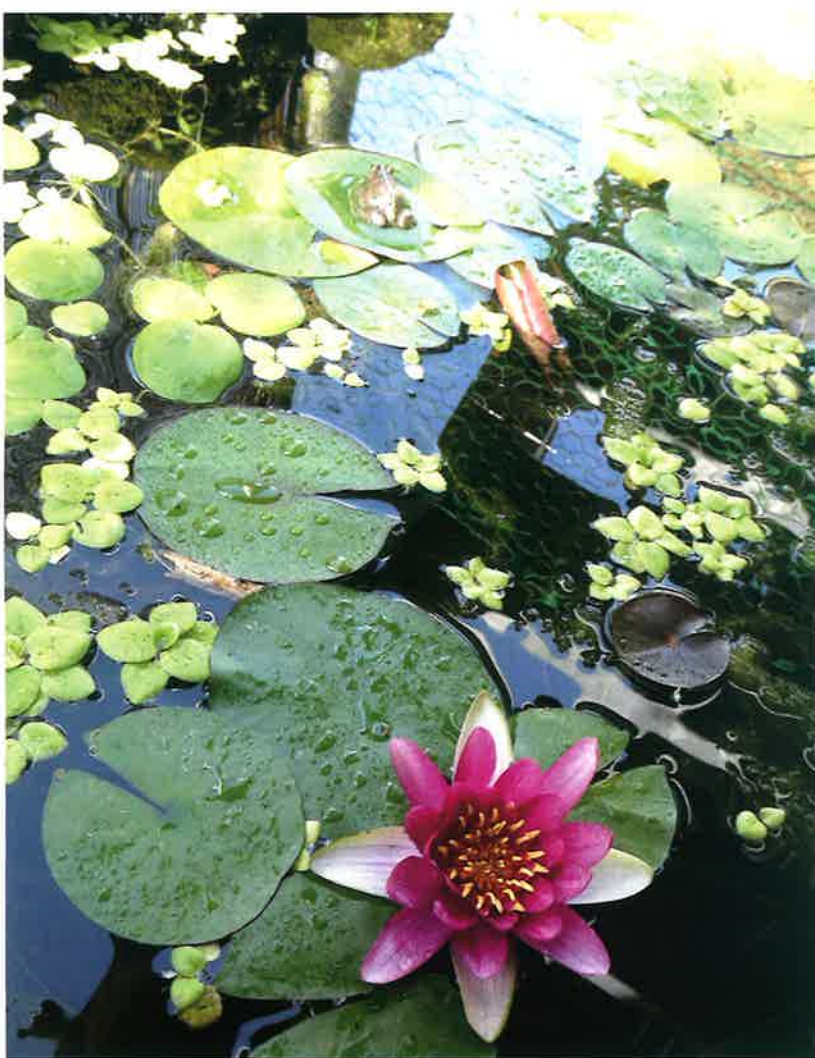
現実には、自己主張など極力控え、人手に協力する役割を果たし、波風を立てず、じっと息を潜めている感覚が私にはあります。

一体全体どうすれば省庁の言う地域連携が合格するのか、理解できないのです。それでも施設は地域連携推進を求められるのでしょうか。

今法人の農福連携という部分で、大きく助けられています。農福連携の事を知り、試しにジャガイモ掘りをお願いしました。職員一人と園生七人計八人でやって来ました。「おはようございます」という元気な声とにこにこした面々。まず仕事の説明をし、ジャガイモの見本を示しながら、これからこれまでのジャガイモはこのコンテナに入れると言うと、早速に仕事開始。

結果は意外と合格点の仕事振りで、「みんなのおかげで今日は、さばけた。ありがとう。」と言うと、「慣れとるけんね、また明日来るけんね」と帰って行った。以来十年程になるが若干のメンバー交代はあったがすっかり気心の知れた関係で、我家には、なくてはならない戦力です。適正を見極め、ここまでにメンバーを指導した先生方に脱帽です。

次回は玉ネギ植えです。次もよろしくね！



梅雨に入り、柿の木の池で睡蓮に蛙がひと休み

ほかにわ共和国からのお知らせ

高校生福祉講座が8月24、25日開講します。高校生のみなさん、たくさん参加してください！

9月にはほかにわ共和国後援会総会・研修会が開催予定です。研修会について、会員の皆様の率直なご意見をお聞かせ頂きたい、アンケートをとることになりました。ご協力をお願いします。

法人設立20周年を迎える11月、記念式典が開催予定です。

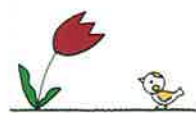


ジャガイモの選別作業をする(有)ステーションほかにわの皆さん



法人理事
林田元親

農福連携と我が家



特集

これからあるべき姿

八雲寮 施設長 志賀常盤



平成23年 利用者朝礼の様子

今年度より、障害者支援施設八雲寮に異動となりました。私の勤務履歴としては、平成十四年入職し八雲寮が初めての勤務先です。その後は通所事業所や宿泊型施設、グループホームと法人内の事業所を経て、数多くの利用者と接してきました。久しぶりの八雲寮でまず感じたのは、利用者の高齢化や重度化でした。当たり前の話ですが、人は歳を取り老いてゆくものです。当時三十代から四十代が中心となり、農業を主体とした活動が盛んですが、現在では携わることの出来る利用者が激減しているのです。その一方、リハビリや機能維持を主体とした活動が

ほかにわ共和国の動き

7/1	物故者法要
8/24~25	高校生福祉講座
9月中旬頃	理事会
10/13	秋季大運動会
11/4	20周年記念式典
11/9	神社祭

必要な利用者が増えてきているのです。利用者サービスの在り方を整理し、その人一人ひとりに適した支援を構築していかなければなりません。そして、利用者の選択意思を尊重して適切なサービス利用管理を行っていききたいと考えます。一方、保護者の皆様についても、先に述べたように、利用者の高齢化に伴い、保護者の皆様に対しても、面会日の在り方や行事におけるご家族の参加し易い形など、利用者だけではなく支えとなる方々への配慮も考えていきたいと思っています。最後になりますますが、口々に人の減少下と言われているにもかかわらず、障害児者がいる限り私たちに求められていることは変わりません。人材確保に力を注ぎ、これから法人ならびに施設の取り組みを模索しながら邁進して参りたいと思います。

わたしとあなたのエピソード

ワークで勤務をしている時に会ったIさんは、高等部卒業後利用を開始されました。当初は、泣いて作業を拒否したり、気持ちを言葉にする事も難しい状態でした。彼女に伝えられる事は何かと考えた時、周りから認められる事の嬉しさと自信だと思いました。頑張りを褒められると嬉しいし、頼りにされるとそれが自信になる。働いたことの無い彼女には自信を持って欲しかったのです。そんな彼女が迎えた、やはた共育大学校卒業式。そこには作業場の隅で涙を流していた彼女の姿はもうありませんでした。大勢の人が見つめる壇上には、自信に満ちた表情で、感謝の言葉を伝える“大人になった彼女”がそこに居ました。彼女の成長を見続けた5年間は、何よりも濃い大切な時間だったと今でも思っています。

(副主任 濱田由佳)



(ワークネットやはた 井上辰也)

私は、六年くらい前からウォーキングをしています。歩くことは腰痛改善の為、良いと言われて始めました。最初は家の周りを少しずつでしたが徐々に腰痛も改善して、長く歩けるようになり、今では一万歩を目安に景色の良い長い一本道や坂道の多いきつい場所など、コースを決めて、少し早めのスピードで歩いていきます。歩いた後はきつかったりしますが良い気分になり、また歩こうという気持ちになります。歩くことは健康にもいいので運動不足かなと思われる方は是非、取り組んでみてはどうでしょうか。



マイフォーム・マイコレクション

売りたいか. なう@

夏本番！草が生い茂っていたり、木の枝が伸びてお困りのところはありますか？

コミュニティほかにわの環境整備班は、地域より剪定、消毒及び清掃、整備等の作業を受注し様々な作業を行っています。この時期、特に多いのが庭の剪定や除草作業です。時には雨の中カッパを着て作業し、夏は暑い中、汗をかきながら作業に取り組んでいます。作業が終わると一面すっきり！お困りの方、是非ご相談下さい。

コミュニティほかにわ（環境班）

Tel 0957-87-5830





毎年恒例のカラオケでは涙を流しながら熱唱される方もいて、いつもとは違う歌声を披露してくれました。収穫された作物に感謝して

「ピンボールベジタブル」ゲームを行いました。じゃがいもとたまねぎを転がして得点を競うゲームで今回初めてということもあり大いに盛り上がりました。

お腹が満たされた頃にステージイベントでは「ピンボールベジタブル」ゲームを行いました。じゃがいもとたまねぎを転がして得点を競うゲームで今回初めてということもあり大いに盛り上がりました。

作物に感謝を！

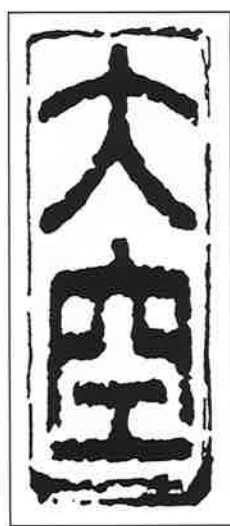
当日は天候にも恵まれ八雲寮・デイ雲合同で収穫祭が

開催されました。今年収穫したじゃがいも、たまねぎを使い、カレーライス、フライドポテト

コロッケの他にそうめん、フルーツポンチなど

たくさん料理が振舞われました。人気のある

カレーでは長い行列が出来るほど好評でした。



障害者支援施設 八雲寮広報部

収穫祭

これからも法人理念である「共汗共育」を目指し一緒に作業をがんばりましょう。(福田義郎)

今後の行事

8月

夕涼み会

小G活動(野球観戦) 帰省(予定)

9月

お月見会

10月

ほかにわ秋季大運動会



巨大ピンボールにワクワク



バックダンサーも加わり熱唱！

当り前に、Eat(食べる) Buy(買う)

6月19日、南島原市発行の「いーとばいチケット」を使用し、食事と買い物を楽しみました。外出をする前に店舗でチケットが利用できるかを調べ、「何を食いたいのか?」「何を買いきたいのか?」と、利用者の方々と一緒に活動内容を決めました。外出された2名は外食、買い物等、満喫することができ、楽しいホーム外出となりました。

私自身、入社して約10年になります。千代垣荘の方々を見守る中で「できることは自分で」という姿勢に感動しています。これからも、寄り添った支援ができるように頑張っていきます。(岡部)



NewFace ~職員紹介~

八雲寮へ新しく仲間入りしました。宜しくお願いします。



永友 正



松田 悦子



福田 末光

春先から暑い日が続き、一時は空梅雨ではないかとの心配もささやかれたが、例年より遅れて梅雨はやってきた。各地での雨の被害がニュースで流れるたびに、他人事では済まされないなど考える。自身を守るだけでなく、利用者がいかに安全に避難できるか、また状況に応じてパニックを起こさないように対応ができるかを考えてしまう。

その為に日頃の訓練で、利用者一人ひとりの行動を理解し、安全に避難誘導を行えるように職員間の危機管理も共有しておく必要があると実感する。災害が起きないことを願いつつ避難訓練などの機会に適切な対応を身につけていきたいものだ。(主任 山本智恵美)

がんばらんば宣言

今回ご紹介するのは・・・?



井上裕文さん

笑顔が素敵な井上さん「これからも加工班で紙ちぎりの作業を頑張ります。」

じゃがいも雑感！





中庭で行ったボール運び

皆で作る芸術作品

創作活動の時間では、季節感を感
じられて、個性を大事にした作品
作りを心掛けています。

いつもは玄関や居室の壁に展示し
デイ雲を彩っていますが、1年の
集大成を2月の活動発表会で皆さ
んに披露します。その為、創作時
はみんな集中し、自分の中にある
最高傑作を出し切ります！みんな
が簡単に作る事ができ、個性が発
揮される作品…ひねり出していき
ます！（荒木）

“ほかにわ”の文字を
使った連想ゲーム

副主任 高松 豊

“ほかにわ”の文字を
使った連想ゲーム
の願い事を書いた短冊や提灯
などの飾り付けを行い、午後
は七夕にまつわる紙芝居をみ
んなで鑑賞しました。好きな
果物を自分達でトッピングし
た手作りのプリンも食べまし
た。みなさんのお願いごとが
叶うといいですね。（熊本）



児童指導員 小林真那加さん

保育園で保育士として働いた
経験を活かして様々なアイデア
を子ども達に提案し、楽しく接し
ていけたらと思います。



看護師 永野やよさん

利用者様に寄り添い、日々安心
安全そして楽しく活動が出来る居
場所を一緒に創っていきたくい
です。よろしくお願いします。

新しい職員の紹介です。



お好み焼き作りに挑戦！

6月22日、放課後等デイの子どもたち
が、東望で焼きそばとお好み焼き作りに挑
戦しました。まず、スーパーで材料を購入
したあと、交代で生地を混ぜたり、ホット
プレートの上で生地をひっくり返したりし
ました。食欲は皆旺盛
ですべて完食となりま
した。皆で作って食べ
る食事はやっぱり最高
だねと笑顔も一杯
の一日でした。

（光長）



雲と虹



行事予定8・9月

- ・納涼祭
- ・小グループ活動
- ・上映会

※状況により延期・中止に
なる場合があります。



悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌

初開催！自治会ビーチバレー大会

自治会ビーチバレー大会が五月十二日(月)に開催されました。今まではグランドゴルフ大会を実施しており、ビーチバレー大会は初の試みでした。これまでは、コロナの流行と悪天候で自治会の行事が中止となり、三年ぶりの開催となりました。当日はあいにくの雨でしたが、皆さん元気に参加しました。

滑り込んでボールをキャッチしたり、ボールを追ったりと一生懸命参加する利用者さん。実力差が出にくいように二パートに分けて試合を行いました。普段は車椅子や歩行が不安定な為に出場を敬遠される方々も椅子に座っての参加で楽しそうにプレイされていたのが印象深かったです。自分がボールを相手チームに返した時は満足そうでした。

優勝は玉垣荘。上手に相手チーム返したり、ボールを追いかけてりパワフル、かつ、繊細なプレーが見られました。賞品にお菓子の詰め合わせ、「みんなで分けよう」ととても嬉しそうでした。全員笑顔の休日となりました。利用者さんの身体状況は年々変わっていきませんが、「今まで通り」ではなく、新しいチャレンジにも取り組んで行きたいです。(田栗)



九州旅行！大分・呼子へGO！

今年度から小G活動で外泊を解禁しました。その第1弾として「九州1泊旅行」を計画しました。CMの杉乃井ホテルに誘われて「ここに行ってみたかあ」と話に上がり、目的地を杉乃井ホテルに決定しました。

天候にも恵まれ大分市のマリーンパレス水族館や国立公園高崎山自然動物園を観光し、ホテルへ到着しました。

入浴した展望露天風呂では景色がすごかあ・きれかあなどの声が聞かれました。

2日目には佐賀県の呼子のイカを目指して車を走らせました。本場のイカは滅多に食べれるものではないので、美味しいと言いながら完食。嬉野で休憩をとり、本場のお茶を飲んでホームに帰ってきました。

皆からは来年も行きたい・楽しかったなどの声も聞かれ、満足してくれたので良かったです。(池永)



笑ってストレス発散！お笑いライブ

南島原市主催の有家町で開催された爆笑ものまねライブへ行って来ました。

テレビの中で見る芸能人を見れる！と行く前から凄く楽しみされていたライブ。いざものまねが始まると前のめりになり拍手をしながら終始見入られており、楽しまれている様子でした。あっという間2時間のライブが終了～。皆さん「楽しかった～」と笑顔で話されていて、体感する活動を今後も取り組みたいと感じた1日でした。(大平)



カンボジアの旅

福岡空港から三月のある日、カンボジアに飛びました。ホーチミンでトランジットして、中国政府が作った斬新なシュリンプアップ空港に到着。

アンコールワットは、ジャングルの中にあり、樹木が巻き付いて崩れそうになっている場所があり、一万九千歩歩いてはまだ三分の一でした。三十五度の気温の中で、地元の方は、冷蔵庫もクーラーもない生活を涼しい顔をして働いていました。子供と若い人しか見当たりませんでした。一〇年後はどんなに変化しているか楽しみです。(谷口)

今後の予定

- ◎物故者法要 7/1(月)
- ◎ソーメン流し(自治会主催) 7/13(日)
- ◎小G活動 福岡一泊旅行(買い物・野球観戦) 7/28(日)～7/29(月)
- ◎悠炉里夏祭り 8/10(土)

悠炉里

私は悠炉里にはじめて勤務するようになり、今、しあわせですか？と自問すると、私は幸せです。と答えます。

なぜなら、家族がいて、仲間もいる。喜怒哀楽がある環境の中、幸福を感じているからです。

一説に、し「あわせ」は「巡りあわせ」から一人一人の幸福を得ることで周りの人との協力やご縁の中で成り立っていくと言われている。

そんな中、誰もが「普通」の場所、普通の生活をする」と願っています。

今、私は、次の言葉に共感します。しあわせを感じることは自分を「仕事」に「合わせる」ことです。仕合わせからの幸せ。七夕の短冊にこめ、職務に繋がりたいです。

統括 井村一美

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 1月号

力をあわせて・・・

ゆうあいスポーツ大会

五月十九日、なごみの里運動公園にてゆうあいスポーツ大会が開催されました。競技が始まるまでは緊張が伝わってきましたが、競技が始まると真剣な面持ちで一生懸命に参加していました。

昨年は、コロナの影響で半日開催でしたが、今年は一日開催となりました。参加者は長崎県内の施設で、ボランティアも含め、おおよそ二千人程度の規模での開催。競技ですが、他施設の方や久しぶりに会う友達とも交流ができました。

競技は玉入れや徒競走、パン取り競争などそれぞれが自分の力を発揮することができました。

リレーでは、見事予選一位で通過し決勝に臨みましたが結果は惜しくも四位という結果。来年は一位を目指します。

(古賀)



リレーでは、気合充分。全員で応援し盛り上がりました

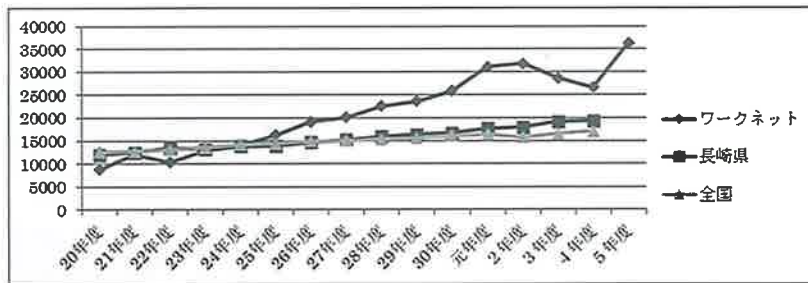
高工賃を目指して

就労継続支援B型事業所の最大の目的は、利用者の仕事を確保すること、毎日の作業を安全に提供することが最大の事業所条件と認識しています。併せて、労働の対価としてお金を支給する事は必要不可欠なディーセントワークの第一条件です。

障害者の“働く”には、生きがいの生産活動という言葉がよく使われます。もちろんとても大切なことではありますが働くから幸せに暮らすことを連動して導き出していくために、その為の仕事が必要であります。

平均工賃月額推移

令和6年度 平均工賃月額目標 36,920円



ワークネットやはたの今日のこの人

今回は「前田 三四男」さんです。

Q 休日の過ごし方を教えてください。

「テレビを見てます。特に、仮面ライダーが大好きで変身ベルトも沢山持ってます。音楽を聴くのも好きで、AKBをよく聴いてます」

Q 好きな食べ物は？

「バナナ、ケーキです」

被服班では、アイロン作業に従事されており仲間と協力しながら毎日頑張られています。これからも元気に通って来てくださいね。



散歩道

昨今、学校の部活動を教職員が負担軽減及び少子化等の対策で地域に移行し活動する動きが国主導で進みつつある。

過疎地域の単独校では、人数が足りず、複数校の生徒が集まれば出場可能で、学校に希望する部活がなく諦めていた生徒達が選択肢が増え、大きな転換期を迎えているようだ。

一人でも多くの子供が活躍できる「場」可能性を引き出せる「場」が増え、子供たちを主体によりよい環境づくりが進んでいくことを願っている。

(主任 松尾浩道)

継続は力なり
野口貴嗣さんが、町内の中華料理店華豊にて実習を行っています。毎日、頑張っている野口さんに伺いました。

Q 趣味は？
「絵を描くこと、ウォーキングをしながら景色を見たり買い物に行く事です」

Q 特技は？
「オセロは誰にも負けない自信があります」



パン取り競争では、笑顔でゴール



隅々まで丁寧に

真面目な性格で、熱心に取り組む姿は実習先でも好評価を頂いています。これからも、職員一同サポートしていきたいと思っています。

(林田)



お世話になっているお店の中でのショット

リハビリがんばってます

今年度より、作業療法士に教えて頂きながらリハビリ担当をさせてもらっています。

4月当初は利用者にも聞きながら取り組んできました。なぜ？どうやって？と疑問が多かったですが、少しずつ理解しながらリハビリ計画書に沿って何とか取り組んでいます。

日々、勉強しながらこれからもリハビリをできるようにして行きたいです。(森内)



一人とも集中しています



リハビリはみんなが好きな時間

リハビリはみんなが好きな時間からもうと文章力を高めて、良い記事を書いていけるように頑張りたいと思います。(山下)



みんなブログ見てみてね♡

明日も暑い予報。毎年使い終わったことがない、ボディースーツを買って帰ります。(恵理)



飛雲荘の食堂にて。みなさんでテレビを見て談笑しています。

「自分」のことが一番見えておらず、それを自己認識する・してもらおうという事はなかなか出来ることではありません。お互い似たもの同士だよ、と教えてくれる人が居ても素直に受け入れることが難しく、あの人のここが好き・ここが気に入らん、など他者への思いは簡単に片付けがちです。一方では、自分のことは誰しも丁寧に扱ってほしいもの。けんかをしても互いに理解しあう関係であってほしいと思いつつ、どう話をすればお互い分かり合えるだろうか毎回考え、悩んでいます。

人を支援するときには、不安になります。完璧であろうと見聞き、素直に学ぶ姿勢で利用者とも向き合いたいと思います。日々、是精進。

GH主任 園田翔一郎



悠乃さん、美鈴衣さんとキャッチボール



このガッツポーズ

ゴールに球が入りこのガッツポーズ

表現できるよ

千春さんは気分を表現することが上手になってきています。特に最近はお昼寝をしていたかと思えばいきなり立ち上がり、怒ったかのようにドタバタ歩いたり、お腹が空いたのか、我さきに食堂へ行きいざ食べようとする、そんなあなたのことを考えさせてもらって、私たち職員は成長できます。(恵理)



食欲旺盛な千春さん

利用者同士の関係と支援

グループホームでの生活を共にされている利用者にとって、互いの存在が鏡であり、憧れや嫉妬の対象となっています。

しかし、私たちも同じなのですが、

「自分」のことが一番見えておらず、それを自己認識する・してもらおうという事はなかなか出来ることではありません。

お互い似たもの同士だよ、と教えてくれる人が居ても素直に受け入れることが難しく、あの人のここが好き・ここが気に入らん、など他者への思いは簡単に片付けがちです。

一方では、自分のことは誰しも丁寧に扱ってほしいもの。けんかをしても互いに理解しあう関係であってほしいと思いつつ、どう話をすればお互い分かり合えるだろうか毎回考え、悩んでいます。

こねは、こね



石川園伯 作 『ピヨピヨ ひよこ』

雨だつてへつちや

昨年より十九日遅く梅雨入りした長崎。この時期は周りも自分もジメジメして嫌な気分ですが、子どもたちはお構いなし。学校が休みの放デイは、近くの体育館を借りて、運動不足解消！いやいや、運動不足なのは職員だけですが…。



食欲旺盛な千春さん

言の葉

「ああ今年も夏がきたなあ」と暑がりの私は毎年思いますが、それが年々早まっているのは、紛れもない事実のほうです。日本は四季がある国で、それぞれの季節にそれぞれの良さがあり、その中でも私は冬になりかけの秋が好きでした(笑)。しかし近年では、夏が早く始まり遅く終わりで、四季のバランスが崩れてきているように感じます。

夏の夏祭りや秋の運動会はまさしくそれで、法人の夏祭りが数年前まで8月に開催していましたが、夕方といっても気温は高く、昼間の炎天下の中で準備を初め、夜に片付けまですることは非常に大変なものでありました。

現在は、各事業所で実施し、各自にあったものとなり、以前よりは規模が小さくなりましたが、その分利用者の方たちには満足してもらえているものとなっていると自信をもっています。

明日も暑い予報。毎年使い終わったことがない、ボディースーツを買って帰ります。(恵理)

8月の行事

- 7日 河川アダプト
- 10日 ケーキの日
- 12日 弁当の日
- 22日 児童外出※
- 28日 市民プール(生活介護)※

※印は参加費あり

郷土の偉人 歴史に埋もれた結核医 末永敏事②

口之津歴史民俗資料館長 松本 昇

1. 生い立ち

末永敏事は島原半島・北有馬村今福(いまぶく)に 1887(明治 20)年4月 13 日、父道伯と母チヨノとのあいだに4男として生まれた。末永家は代々続く医家であった。敏事が子どもの頃から医者を目指したのは、自然の成り行きであったといえよう。

末永家が医家だったことに加えて、医者になるように敏事の背中を押したのは、子どもの頃に友だちと交わした言葉であった。道伯は自宅で私塾を開き、近所の子どもたちに漢学を教えていた。敏事の幼なじみに井村兼治という少年がいた。敏事より 7 歳年少であったが、ともに道伯の教えを受けていたのである。

兼治の息子・正治は、父から伝えられた敏事の生い立ちを手記に残した。

敏事は兼治にこう問い掛けた。

「俺は医者になるぞ。おまえはどうするか」

兼治は答えた。

「おまえが医者になるなら、俺は歯医者になる」

兼治は後年、敏事との約束を果たし、東京で歯科医になる。

——森永氏の本より

敏事以上に(歯)医者になる決意を固めたのが兼治であったことは、いうまでもない。末永家はおよそ 1500 坪の敷地に住み、地元では有名な医家であった。一方の井村家は極貧の農家であった。よって、兼治は「自分の境遇を打破しよう」と、必死になって歯科医の道を歩んだものと思われる。



末永家の実家があった付近



外科医・末永道伯

敏事は北有馬尋常高等小学校を卒業後、1899(明治 22)年 4 月に長崎中学校に入学する。現在の県立長崎西高等学校である。ところが、何を思ったのか、同中学校を退学し、単身上京してプロテスタント系の新興校だった青山学院に入学する。いつ入学したのかははっきりしたことはわからないが、1901(明治 34)年頃と推測される。少なくとも敏事が 1906(明治 39)年に青山学院中等部を卒業したことは、たしかである。また、なぜ上京して青山学院に入学したかについては、末永等氏は、「もともと英語習得を目指していたのではないか」という。後に敏事は米国に留学するが、この優れた英語力が自らの人生を切り拓くうえで強力な武器となってゆく。(つづき)

※道伯の写真は、『井村荒喜追想録』より転写したものである。

井村荒喜(1889-1971)も今福生まれで、道伯の私塾に頻繁に通っていた。後に富山県で不二越を創業する。現在不二越はベヤリングや産業用ロボットを製造する大企業である。

メンバーは高校大学の仲間であるが初対面同志であった。自由闊達な意見の交換は青春の原点回帰だ。私は、酒井君の娘さんに初めて会えたが、同級生妻仁子さんを若くして亡くし、クレイマーとして育て上げた娘さんは仁子さんに面影があった。私は、言葉を失うほどの感激であった。

尚、継続中だが、15 人は鬼籍入り、同じ割合で、事情が有って外出不可能、元気に旅が楽しめるのは半数である。今回のイベント参加は、特別企画であった。川崎で口笛大会が開催され、わが友酒井勝弘博士は、厳しい予選を勝ち抜き選ばれた奏者だ。しかもシアの部門で世界第三位に輝いた酒井は、古関裕而作曲「ニヨライの鐘」を二曲目に選んだ。茨大の西連寺先輩は、日本の旋律の哀愁を絶賛した。応援団 7 名は会場近くの松本仙作君のマンションで懇親会を開いた。

長崎純心大学研究会 25 周年の時、ご縁あり山田幸子シスター(前学長と隣り合わせになり、クリスマスの起源は口之津の教会であるというビッグな情報を得た。山田シスターにお願いしてその根拠を昭和 13 年 12 月 15 日「カトリック教報」に片岡弥吉先生の記事があった。早速調べましたところ、非常に濃厚な事実がありそうで、興味津々で調査を始め、その確証が示せる段階に入ってきた。将に、口之津港の文化史の重要な新発見である。

口之津が起源とすれば、片岡の「②戦争中の御降誕」とナタラ研究家の指摘は、織田信長と松永久秀の戦いの中で、フロイスが仲介して

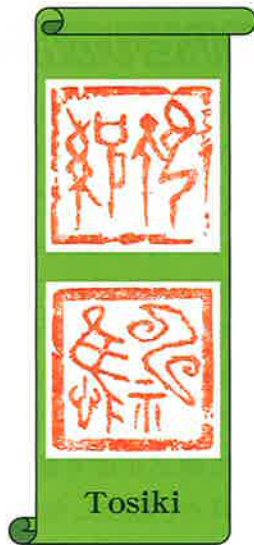
最大と言う。全長約 10 m の世界最大と制作。彫刻家親松英治氏が 40 年の歳月をかけた。



志賀 永山 津曲

口加高校三年 A 組は昭和 38 年卒業の 54 名で構成されていた。進学校に名前が挙がり、必死で勉強した友もいた。全員が大らかで楽しいクラスだった。卒業の時、「一月三日正午、島鉄加津佐駅に二千人集って集まる」の合言葉で青春はスタートした。本年で夫々 80 歳になったが、今

福祉文化史で読み解く 御降誕祭の起源



片岡によれば、ナタラはミサばかりではなく一連の儀式聖演劇、聖歌、聖体拝領、饗宴を示唆している。そして、ナタラの逸話を「①ナタラのミサに興れないで残念がった信者等」、「②戦争中の御降誕」、「③ナタラの薪からでた不思議な十字架」、「④迫害時代浦上のナタラ」に関して叙述している。

ナタラに関する書簡は、一五六一年から一五八二年天正遣欧少年使節が長崎を出帆するまで十六通確認できるが、アルメイダの書簡は六通ある。中でも、一五六四年十月十一日の豊後発は、口之津のナタラを報告してある。

ナタラは、府内から横瀬浦、口之津から天草へ、そして五島伝播されているが、アルメイダとサンチェスが互いに関わっていることが書簡で読み解くことが出来る。

コレジオとマリア観音

日野江城のある北有馬町では、天正遣欧少年使節の追憶のイベントのクリスマスが開催されている。

一方、原城趾のある南有馬町では切支丹史料館の近くにマリア観音が建立された。木造では世界最大と言われている。で一番の大きさと言われている。5 月 26 日研究会 25 周年の帰路、筑波大津曲

第 46 回世界口笛大会酒井博士大活躍



西連寺剛先輩からの言葉
管鮑之交(かんぼうのまじわり)
酒井マヤ
ピアニスト
酒井幸美
網谷幸美
松本仙作
酒井勝弘
馬場伯明
西連寺剛
志賀俊紀
藤本 元